町村職の皆さんの想いを受け取りました

　２月17日、３年ぶりに東京・日比谷野外音楽堂で開催された自治労第43回全国町村職総決起集会に自治労組織内参議院議員（比例代表）３人が参加しました。

　宮脇拓也町村評議会議長（三重県本部明和町職労）、元町村評議長である川本淳中央執行委員長（北海道本部中川町職労）のあいさつに続いて、自治労協力国会議員団長の吉田忠智、岸真紀子、鬼木誠と連帯のあいさつをさせていただきました。

　集会終了後、町村職の皆さんは３つの梯団に分かれて国会への請願デモへ。組織内の３人をはじめ、立憲民主・社民会派所属の仲間、国民民主党所属、沖縄の風所属など多数の議員も参加して、デモ参加者の皆さんからの請願を受け、寒さを吹き飛ばす熱いシュプレヒコールの交換をしました。

　行政規模が小さい町村では、財政、人員ともにぎりぎりの中で、いかに住民に良質な公共サービスを提供できるか、職員の皆さんが日々困難と向き合いながら頑張っています。その想いや声をしっかりと受け止め、組織内議員３人が連携・協力して国政に届けてまいります。